

男性の「生きづらさ」を考える

おっさん社会が生きづらい

小島 慶子著
PHP 研究所
2022.8 <367.5>

独善的で想像力に欠け、ハラスメントや差別に無自覚、話を聞かない、権力に従順。そんな“おっさん性”について、著者と5人の識者が対話し考察。人が心を殺さねば生き延びられない“おっさん社会”からの脱却のヒントが満載。

新しい声を聞くぼくたち

河野 真太郎著
講談社
2022.5 <367.5>

変わっていく世界と、ぼくたちのいらだち。与えられた剣と鎧はどうやって手放したらいい？ 近年のフェミニズムの興隆の中で男性はどう生きるべきかを、映画や漫画など様々なコンテンツから読み解く。

男がつらい!

杉田 俊介著
ワニブックス
2022.10 <367.5>

冴えない、裕福でもない、特別な才能もない平凡な人生をそこそこ幸福に生きていく。新しい生き方のモデルとは-。“男らしさの呪縛”にかかった「弱者男性」たちの叫びと救いの書。

38歳、男性、独身 -淡々と生きているようで、 実はそうでもない日常。

ウイ著
KADOKAWA
2021.5 <914.6>

いずれは結婚するだろうと思いながら、気付けばアラフォーに-。38歳、男性、独身のコラムニストの著者が、なんとなく感じている生きにくさや、足をすくってくる恐怖の正体、なぜ独身生活が楽しいかなどについて綴る。

- アラフォー男子の憂鬱 常見 陽平編著、おおた としまさ編著：日本経済新聞出版社 <367.5>
- 男が介護する 津止 正敏著：中央公論新社 <369.2>
- ルポ父親たちの葛藤 おおた としまさ著：PHP研究所<366.7>
- 男らしさの終焉 グレイソン・ペリー著、小磯 洋光訳：フィルムアート社<367.5>
- 男社会がしんどい 田房 永子著：竹書房<726.1>
- 自慢話でも武勇伝でもない「一般男性」の話から見えた生きづらさと男らしさのこと 清田 隆之著：扶桑社<367.5>
- 男性育休の困難 齋藤 早苗著：青弓社<366.3>
- 男性危機? 伊藤 公雄著、多賀 太著、大東 貢生著、大山 治彦著：晃洋書房<367.5>

情報ライブラリー ◆このほかにも、たくさんの所蔵があります。また貸出中の図書は予約することができます。
ご利用案内 くわしくは、情報ライブラリーまでお気軽にお問い合わせください。



〒030-0822 青森市中央3丁目17-1 TEL:017-732-1024 FAX:017-732-1073
利用時間 9:00~19:00 (日曜・祝日は17:00まで) *休館日 水曜日・年末年始・図書整理日

青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センターは指定管理者未来へつなぐネットあおもりグループが受託・運営しています。